

経営のヒント43 氷煮三国志の逸話」

「へそまがり」になっていませんか？

ご紹介著書「氷煮三国志」の中の逸話です。マタマタ、気に入ったので、ご紹介します。

劉備に盧植先生は、ある犬の話をはじめた。

へそまがりという名前の犬が、モデル養成学校の稽古場に迷い込んでしまったんだ。

その稽古場は四方が鏡に囲まれていたそうだ。

たくさんの犬が突然現れたように見えて、へそまがりはびっくりしてしまっただな。本能的に威嚇のポーズをとり、牙をむき出して低く唸りはじめた。

すると鏡の中の犬たちも、同じように威嚇するように牙をむき出した格好になった。四方から唸り声が反響している。

へそまがりは驚きうろたえながらも、鏡に映る自分に対抗しようと必死にあがいては部屋中をやたらめったら飛跳ねた。次第に混乱してきたのだらう。ついには頭がおかしくなってしまった。

そして最後にはその場で気を失ってしまったんだ。

劉備はいぶかしげに訊いた。

「ボクがそのへそまがり犬だということですか？」

「君はどう思う？」

「確かに少しはひねくれているかもしれませんが、でも、鏡の中の犬はいったいどんな関係があるということですか？」

「わからないのかい？君の目に映る同僚たちこそ、鏡の中の犬たちだよ。これは覚えておくといい。君が他人に対して友好的であれば、他人も君に対して友好的になるはずだ。君が他人に対して礼儀正しい態度で接することができなければ、他人だってそれ相応の態度で応じてくる。同僚達が君に難癖をつけてくるのが事実だとして、君は彼らにどう接していたんだらう？」

劉備はうんともすんとも言わなかった。

盧先生はそこで一息つきながら、劉備の様子を窺った。「人に好かれるには秘訣があるんだよ。それを信じるだけで、三ヶ月以内に間違いなくみんなから好かれるようになるから試してごらん」

寮に戻ると、盧植先生に教えてもらった『人に好かれる秘訣』をノートに書き留めた。

- 一 . 毎日鏡に向かって笑顔の練習をすること。
- 二 . 知人に会ったら、親しみをこめて挨拶をすること。
- 三 . 善意をもって、積極的に人の手伝いをすること。
- 四 . 誰にだって過ちはあるのだから、寛容な心で周囲の人々と接すること。
- 五 . 人に思いやりをもって接することは、自分自身に思いやりをもって接することと同じであるという哲学を堅く信じること。

皆様は、いかがですか？私自身も「笑顔 挨拶」「親しみやすさ」「思いやり」の心「誠意」出来てないな！?? 改めて、考えさせられました。

「へそまがり」……以前の私です！（今もそうかも？）

家庭内でもよくささなことで喧嘩してましたね。恥ずかしいかぎりです！

まずは、「笑顔の練習」……スマイルマーク。目じりを下げて、口元を上げて！ニコと笑って！

「意識」を変えるには、「行動」を変える。そして「習慣」になるまで、徹底するようにしたいものですね。